

令和元年 9月 2日

皆様、おはようございます。

本日から、令和元年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、前回6月議会以降の取組を中心に、ごあいさつを申し上げます。

9月に入り、朝夕は少し涼しさが感じられるようになりました。この夏特に梅雨明け後は、本当に暑さが厳しく、全国的には熱中症などの報道も相次ぎました。また九州北部では記録的な豪雨もあり、一日も早い復旧をお祈りする次第です。

お盆の時期には、台風10号が接近し、夏祭りや浜名湖カップサッカーなど、夏休みの行事にも影響が出ました。幸いにも湖西市においては、人命にかかわるような被害は発生しておりません。

また、昨日9月1日の総合防災訓練では、災害対策本部の設置訓練のほか、地域ごとに工夫を凝らした防災講座や、避難・消火などの訓練を実施いただきました。更には8月31日にボートレース浜名湖で開催された「住まいと暮らしの商工祭」の中でも、災害ボランティアの皆様などにも出展をいただき、防災グッズや非常食、備蓄などの啓発をいただいたところであり、加えて先週末のNHKナビゲーションにおいても、南海トラフ巨大地震への備えとして、市内の保育園における避難訓練や津波避難タワーなど、湖西市の取組が全国に紹介されました。いつ、どこで起こるか分からない災害に対して、常日頃からの備えが何よりも大切であると再認識をしたところであり、自助・共助・公助の啓発と取組を、継続していきたいと考えております。

(豚コレラ)

次に、平成30年9月に岐阜県の養豚場で発生が確認されました豚コレラにつきましては、発生から約1年となりますが、豚コレラ感染イノシシが7つの県で確認されたほか、7つの府や県の養豚場で発生が確認され、未だに終息する気配がありません。湖西市におきましては、10軒の農家が静岡県内第1位である約27,000頭の豚を飼育しており、各事業者さんにおいて防疫対策を強化していることに加え、湖西市と静岡県が連携し、消毒の徹底や野生イノシシの侵入防止柵の設置など、様々な防疫対策を講じてきました。今後もこれまで同様、防疫対策を徹底するとともに、一日も早い終息を願い、今般、取組を強化した

臭気対策と合わせ、畜産振興と定住促進を、並行して進めていきます。

(モネ・テクノロジーズとの連携等による公共交通の利便性向上)

続きまして、子どもたちからお年寄りまで、すべての世代にとって重要となる公共交通の利便性向上、同時に産業の振興による地域の活性化を同時に実現するため、8月1日には、自動運転の普及及びMaaS (Mobility as a service) による次世代運行サービスを進めるため トヨタ自動車やソフトバンクなどが設立した「モネ・テクノロジーズ株式会社」と覚書を締結いたしました。今後、公共交通会議等において、デマンド型タクシーとコーちゃんバスのような従来型の路線バスの役割分担を見直しつつ、自動運転に加えデマンド型タクシーのアプリ活用による配車予約、車内における移動店舗や医療機能の付加、企業との連携による通勤シャトルバスの活用など、具体的な事業を詰めたうえで、極力早期に実証実験の目途をつけ、例えば運転免許返納後も病院や買い物に安心して行けるなど、利便性の向上による、地域福祉の向上にも繋げていきたいと考えています。

(地域医療)

次に、地域医療についてですが、湖西病院において、6月から「地域包括ケア病床」の運用を開始しました。これは、他病院も含め手術や一般病床での治療後に、退院しご自宅等へお帰りになるまでの間、軽度な治療やリハビリなどを受けながら、引き続きご入院いただく病床となります。

また、今月9月から、湖西病院において「地域連携外来」を開設いたします。地域の診療所等の先生が主治医となって、在宅にて療養されている患者さんや、市外の病院で手術や診療を受けた後に一時的に入院の必要が生じた場合の受け入れを湖西病院で行うなど、病・診連携、いわゆる病院と診療所との連携を強化することで、スムーズな受け入れに繋げ、市民の皆様の地域医療の向上、更には病床の有効活用等による、経営改善にも繋がるものと、期待しています。

また、今回の質問通告でもいただいておりますが、市内の分娩施設につきましても、全国的な産婦人科医不足もあり、大変厳しい状況ではありますが、人口減少対策、定住促進のための子育て支援は、湖西市の重要施策であることから、市内での分娩施設の開設に繋がるような新たな取組も、少しでも早く良いご報告ができるよう、関係機関と連携しながら取り組んでいるところです。

(新所原駅前ヒロバル)

また、地域の活性化に関し、7月29日から8月9日までの平日の2週間、初めてのチャレンジとして、新所原駅南口において、「夕宴地広場バル」、通称「ヒロバル」を、地域活性化の実証実験として開催させていただきました。午後4時から午後7時までの3時間、10日間で、合計1,115人の来場者がありました。当初は新所原駅周辺の、会社からのお仕事帰りの方を主に想定していたところですが、地元の方々にも大勢繰り返しお越しいただくなど、想定以上の方がお立ち寄りいただいたと考えております。来場者や出展者の皆さんへのアンケートや、直接お会いした際などにも「これから定期的に実施してほしい」など、前向きな意見を多くいただきました。これから、立地適正化計画も外部の有識者の審議会を9月6日に立ち上げて議論していくところですが、このような実証実験も参考に、土地政策はじめ今後の展開を考え、地域の活性化に繋がりたいと思います。

(総合計画WG)

更に、立地適正化計画の策定と合わせ、令和3年度から新たにスタートする「第6次湖西市総合計画」の策定にあたり、湖西市の将来像を考えていただくため、無作為抽出した市民の皆様から希望者を募り、「市民ワーキンググループ」を8月に2回開催しました。10代から70代までの幅広い世代の方々にご参加いただき、メンバーの皆さんには、湖西市の現状や良いところ、足りないところ、多岐に亘り大変ご熱心にご議論いただいているところであり、きっと、すばらしい将来像が導き出されるのではないかと、わくわくしております。次回が最終回の予定ですが、9月21日の土曜日に開催予定となっております。傍聴は自由ですので、ご関心ある方は是非ご覧になっていただければと思いますし、このワーキングでの議論も踏まえ、市としても人口減少対策を中心に、持続可能な発展のための中長期的な計画を策定していきたいと考えております。

(スポーツ・スペイン卓球)

さて、スポーツに関しては、この夏の全中に岡崎中男子・新居中女子バレーボール部が、史上初めて湖西市から男女そろって全国大会に出場し、またその他の陸上や水泳などの競技においても、昨年を上回る54名の選手が、全国・東海大会に出場し、活躍してくださいました。

また、来年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、2年ぶりにスペイ

ン卓球代表の選手団が8月21日から31日まで、アメニティプラザで事前のトレーニングキャンプを行いました。市内の中学生や高校生との合同練習や、8月28日にはデンソー女子卓球部、愛知工業大学や専修大学と国際交流親善試合を行い、2年前に比べても約100名多い400名の方にご来場いただきました。また、おいでん祭での選手紹介や、浴衣や法被姿での市民総おどりへの参加など、日本文化にも親しんでいただくと同時に、国際交流や親善活動により、市民の皆様のオリンピックに向けての機運醸成に大きく貢献いただいたと思います。

(職住近接)

さて、来月10月からは、湖西市の人口減少対策、定住促進に繋げる新たな事業といたしまして、昨年10月の「新婚さん『こさい』へおいでん新生活応援金」に続き、「住もっか『こさい』定住促進奨励金」事業を開始いたします。更には、市内に住み、市内企業で働いていただく方に対する、企業と連携した奨学金の返済支援制度の創設なども、来春からの実施に向け、定住促進に繋がるような制度設計を現在進めているところです。

その他、道路や上下水道、環境センターといった生活に不可欠なインフラの整備、質の向上に加え、「みらいのこさい調査事業」において行っていただいている、子ども連れに優しい市役所、女性活躍の推進など、湖西市に住むきっかけとなり、そして住み続けたいと思っていただけるような新しい政策にも引き続きチャレンジし続けたいと考えておりますので、議員の皆様方におかれましては、建設的かつ前向きなご提案や議論を深めていただき、さらなる市民生活の向上、市の持続可能な発展に繋がれたらと思います。

(結び)

さて、今回の9月議会に提案させていただきます案件は、条例の制定や一部改正、補正予算、平成30年度決算など25件でございます。後ほど提案理由説明をさせていただきますが、保育の質の確保に関する条例はじめ、湖西市の持続可能な発展に繋がるものばかりでございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

(以上)